

注文の多い料理店

大正時代初期。

当時の材木町は盛岡でも有数の豪商が軒を連ね、今の青山町にいた騎兵隊員や賢治さんの通う盛岡高等農林（現在の岩手大学農学部）の学生で賑わっていました。

当時下の橋に下宿していた賢治さんにとつてこは、角喜商店で肥料を選んだり、東山堂で立ち読みをしたり、村定楽器で蓄音機を眺めたりしていた通学路。

賢治さんが同人誌「アザリア会」を結成し、親友の保坂嘉内らと連日、夜遅くまで議論に花を咲かせていた下宿「鎌田屋」もこの材木町にありました。賢治さん生前唯一の童話集「注文の多い料理店」を出版した光原社の社名は賢治さんが名付け親でした。ここ材木町は賢治さんには馴染み深い土地なのです。

花巻で生まれた賢治さんは、旧制盛岡中学（現在の盛岡一高）、盛岡高等農林に通い、多感な青春時代をここ盛岡で過ごしました。あの、他人にはまねできない独特の感性はこの時期に磨かれたのでは、と思われま

す。90年の時をこえて、賢治さんの作品とチエロの音色に浸る夕べ。そんな春の宵のひとときをいっしょにお楽しみください。



朗読劇

七日弾きのゴージャス

語り：上野敏明
東海林浩英
東海林千秋
演奏：三浦祥子(チェロ)
音楽構成：上野理恵子

3月7日 17:00開演
開場は開演の30分前です

チケット：前売1,000円(当日1,200円)

★チケットのお求めは
いわてアートサポートセンター、プラザおでって、
喫茶てあとる(盛岡劇場内)、川徳、大通佐々木電気

お問合せ・語りの芸術祭実行委員会 ☎(019)604-9020
主催：文化庁／語りの芸術祭実行委員会

会場／
ビアパブ・ベアレン(材木町)

〒020-0063岩手県盛岡市材木町7-31 ☎(019)626-2771

